

新年度の始まり。

弓削 比紗英

明けましておめでとうございます。



サンパドロ・デル・パラナ市、家畜飼育隊員の弓削です。

年が明け、2016年。勤務先の市役所では1月から新年度を迎えました。

この新年度から大きく変わったこと、それは「市長が変わった」、ということ。

2015年7月31日のブログ記事「小さな町の大きな出来事」
(http://world-diary.jica.go.jp/obipara/post_10.php)に詳細がありますが、
2015年は5年に1度行われる市長選挙の年でした。

11月に行われた本選挙の結果により、ここ、サンパドロ・デル・パラナ市では
これまでとは違う政党の市長が就任することになりました。

市長が変わることで、どのような変化があるのか？
なんと、市役所職員がほぼ総入れ替えです。

すでに12月21日から新市長は市役所に勤務していたのですが、

1年以上慣れ親しんできた市職員に解雇通知が渡され、その次の日からはいなくなっていく、という状況は、仕方がないとはいえ、なんとも言えない気持ちでした。

解雇された市職員の中には私のカウンターパートも含まれています。

私にとっては2代目（2015年3月～、初代は政治的理由により解雇）のカウンターパートだったのですが、働き始めた頃は、待ち合わせ時間に来ない、連絡もない、何かあれば言い訳をする、親しくない相手に電話ができない、自ら行動しない、畜産に関する知識もそこまで・・・、というような、正直頼りない状況でした。



それでも9カ月一緒に働いた中で少しずつ改善し、畜産に関する知識も徐々に身に付けていきました。

まあすごく頼れる存在になったか、ということこそまではなかったけど、人工授精師の資格を取りたいなどの意欲も見せ、今年はこんな活動をしよう、と話していたところだったのに、その様な中での解雇、というのは正直残念でなりません。

果たして、3代目カウンターパートはどうなるのか・・・

2016年の始まりは、カウンターパートなし、エル・ニーニョ現象の影響により雨が多く、ほとんど街の外（土道の先）にでることができない、という状況ですが、

残された時間の中で、より良い活動ができますように！